つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）3月4日（火）

発信元：つくば市 生活環境部 つくばメモリアルホール

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

市営火葬場における収骨取り違えについて

市の火葬場において、火葬した遺骨を別の遺族に収骨させた事案が発生しました。

【日時】 令和7年3月1日（土）15:20頃

【場所】 つくばメモリアルホール（玉取1766番地）

【内容】

火葬委託業者の職員が、火葬を終えた遺骨を収骨する部屋に移動する際に、本来の部屋とは別の収骨部屋へ運び、その収骨部屋を使用する別の遺族に収骨させていました。収骨の途中に遺族から遺骨が載っている台車に付いている名札が違うとの指摘があり、その後、収骨作業を中断し、遺族に事情を説明し、骨壺から骨を元に戻して、本来の遺族に収骨をやり直していただいた事案です。

【原因】

火葬委託業者の職員が、遺骨を載せている台車の名札と収骨を行う部屋の名札の確認を怠り、さらに、収骨部屋に入った他の職員も名札の確認を怠るなど、複数のミスが重なったことが原因です。

【対応状況】

両家に対し、市及び火葬委託業者の責任者が謝罪しました。

市から、火葬委託業者に対して、マニュアルに定められた確認作業を徹底するよう強く要請しました。

市長コメント

この度は、御遺族様にとって最後のお別れである収骨において、重大な事故を起こしてしまい、深くお詫び申し上げます。

今後このようなことが決して無いよう、委託業者に対して適正な運営を指導するとともに、市としても更に緊張感を持って施設運営に取り組んでいきます。